



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 テンアライド 株式会社  
コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 飯田 永太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長

(氏名) 加藤 慶一郎

TEL 03-5768-7490

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,928	110.0	1,155		679		801	
2022年3月期第3四半期	3,298	30.1	2,441		79		42	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 778百万円 ( %) 2022年3月期第3四半期 50百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第3四半期	27.77	
2022年3月期第3四半期	1.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,521	1,778	23.5
2022年3月期	7,432	1,977	26.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,770百万円 2022年3月期 1,977百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「種類株式の配当状況」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響について、適正かつ合理的な算出が困難であることから、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	30,542,727 株	2022年3月期	27,960,727 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	427,095 株	2022年3月期	427,007 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	28,872,859 株	2022年3月期3Q	27,533,833 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(A種類株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	71,726.00	71,726.00
23年3月期(予想)	—	—	—	70,000.00	70,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(B種類株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	30,136.99	30,136.99
23年3月期(予想)	—	—	—	40,000.00	40,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出・延長等による各種行動制限が解除されたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や急速な円安の進行等により、原材料・エネルギー価格が高騰し、あらゆる物価が急上昇するなど先行きの不透明感が払拭できない状況にあります。

特に外食産業においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた各種行動制限の緩和が進んだものの、在宅勤務の増加や宴会の回避等、消費者のライフスタイルや行動態様が大幅に変化しております。加えて資源の高騰や円安に伴う物価の上昇により、原材料費をはじめ人件費や水光熱費等の様々なコストの上昇が懸念されております。このため、厳しい経営環境は依然として継続している状況であります。

当社は、「食を通して「驚き」と「感動」を」という企業理念を体現するために、良質な食材等の仕入、低価格による提供、人材教育、衛生管理を徹底してまいりました。

また、消費者ニーズの変化に対し、弁当等のテイクアウト販売、宅配サービス、セントラルキッチンにおけるオリジナル製造品の外部販売（スーパー等の小売業者向け販売、楽天による通信販売、自社ホームページによる通信販売「天狗キッチン」及びセントラルキッチン敷地内にある「天狗こだわりマーケット」による直接販売）等を拡充しており、小売業の売上拡大を図っております。加えて、店舗の営業についても消費者ニーズの変化に対応した業態への転換を進めると同時に、店舗オペレーションの効率化を目指した二毛作業態の開発・展開を実施しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期比210.0%の69億28百万円となりました。

利益面につきましては、未だ売上が十分に回復できず、営業損失は11億55百万円（前年同期は営業損失24億41百万円）となりましたが、前年の営業時間短縮等に係る感染拡大防止協力金等の営業外収益により経常損失は6億79百万円（前年同期は経常利益79百万円）、店舗の閉鎖に伴う減損損失、店舗閉鎖損失及び店舗閉鎖損失引当金繰入額の発生により親会社株主に帰属する四半期純損失は8億1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円）となりました。

なお、当連結会計年度末における当社の店舗数は、「旬鮮酒場天狗」6店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」「あげてけや」含む）」28店舗、「テング酒場」23店舗、「神田屋」29店舗、「てんぐ大ホール」9店舗、「ミートキッチンlog50」2店舗の合計97店舗であります（内フランチャイズ3店舗）。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて89百万円増加し、75億21百万円となりました。この主な要因といたしましては、売掛金が70百万円、棚卸資産が83百万円、その他流動資産が1億69百万円増加したことに対し、敷金及び保証金が1億67百万円、有形固定資産が58百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億88百万円増加し、57億43百万円となりました。その主な要因といたしましては、買掛金が1億29百万円、店舗閉鎖損失引当金が29百万円、その他流動負債が1億62百万円増加したのに対し、退職給付に係る負債が36百万円減少したことによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億99百万円減少し、17億78百万円となりました。その主な要因といたしましては、4月に新規発行した新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ3億44百万円増加したことに対し、種類株式に係る剰余金の配当により資本剰余金が1億16百万円、四半期純損失の計上で利益剰余金が8億1百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が不透明であり、各種諸施策を実施しておりますがその成果を合理的に算出することが困難であるため、現時点においては業績に与える不確定要素が多く、業績予想を合理的に算定することが困難であります。そのため、2023年3月期の業績予想は未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,167,766	3,116,777
売掛金	126,441	196,549
棚卸資産	147,101	230,519
その他	249,838	419,328
貸倒引当金	△24,106	△18,593
流動資産合計	3,667,040	3,944,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,121,420	6,097,333
減価償却累計額	△5,088,117	△5,086,687
建物及び構築物（純額）	1,033,302	1,010,646
機械及び装置	1,031,137	1,021,686
減価償却累計額	△840,293	△839,880
機械及び装置（純額）	190,843	181,805
工具、器具及び備品	1,572,864	1,591,051
減価償却累計額	△1,406,157	△1,451,353
工具、器具及び備品（純額）	166,707	139,698
土地	245,103	245,103
建設仮勘定	-	220
有形固定資産合計	1,635,957	1,577,474
無形固定資産	51,569	60,831
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,820,721	1,652,725
その他	261,030	289,920
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	2,078,152	1,939,046
固定資産合計	3,765,678	3,577,351
資産合計	7,432,719	7,521,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	191,539	320,550
短期借入金	2,500,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	-	28,800
未払法人税等	42,296	34,026
店舗閉鎖損失引当金	-	29,517
その他	590,423	752,836
流動負債合計	3,324,259	3,665,731
固定負債		
長期借入金	720,000	691,200
退職給付に係る負債	1,140,806	1,104,521
役員退職慰労引当金	21,743	22,255
資産除去債務	117,963	120,114
その他	130,439	139,879
固定負債合計	2,130,952	2,077,970
負債合計	5,455,211	5,743,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	394,078
資本剰余金	9,527,195	9,754,342
利益剰余金	△7,597,073	△8,398,768
自己株式	△161,908	△161,934
株主資本合計	1,818,214	1,587,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,133	103,694
土地再評価差額金	67,295	67,295
退職給付に係る調整累計額	8,863	11,842
その他の包括利益累計額合計	159,292	182,832
新株予約権	-	7,679
純資産合計	1,977,507	1,778,230
負債純資産合計	7,432,719	7,521,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,298,362	6,928,051
売上原価	1,129,165	2,135,447
売上総利益	2,169,196	4,792,604
販売費及び一般管理費		
人件費	2,319,594	3,088,645
退職給付費用	59,370	49,268
地代家賃	1,033,749	1,164,874
その他	1,198,050	1,645,067
販売費及び一般管理費合計	4,610,764	5,947,856
営業損失(△)	△2,441,567	△1,155,252
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	6,964	7,994
受取賃貸料	4,289	4,289
固定資産受贈益	644	2,631
受取事務手数料	3,109	5,037
貸倒引当金戻入額	5,390	6,970
雇用調整助成金	319,346	10,640
助成金収入	2,194,369	460,084
その他	20,216	7,927
営業外収益合計	2,554,334	505,586
営業外費用		
支払利息	28,713	26,052
その他	4,956	4,230
営業外費用合計	33,669	30,282
経常利益又は経常損失(△)	79,097	△679,949
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	11,578	-
特別利益合計	11,578	-
特別損失		
固定資産除却損	2,161	3,928
減損損失	-	23,198
店舗閉鎖損失	-	21,184
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	29,517
固定資産処分損	3,005	10,126
特別損失合計	5,166	87,955
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	85,509	△767,904
法人税、住民税及び事業税	44,329	34,157
法人税等調整額	△915	△367
法人税等合計	43,413	33,790
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,095	△801,694
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,095	△801,694

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,095	△801,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,876	20,560
土地再評価差額金	△2,999	-
退職給付に係る調整額	1,940	2,978
その他の包括利益合計	8,818	23,539
四半期包括利益	50,913	△778,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,913	△778,155
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは同種の外食産業及びその補完的事業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。